

セキヤ

広報

No.660

2016年(平成28年)

4.1

1975年(昭和50年)4.1創刊

V・プレミアリーグ日本一!

～ バレーボール 大島出身 近 ^{ひろ たか}裕崇さん ～

(写真右から4番目)

平成28年度

施政方針説明

3月10日、定例村議会の初日に行われた平成28年度施政方針説明で、平田大六村長が村政運営の基本方針と主要事業について述べました。予算編成を除き、ほぼ全文を掲載しました。予算の説明は8〜12ページをご覧ください。

わが国はいま、急速に進む人口減少問題に直面しております。昭和41年に日本の人口が1億人を超えてから50年、昨年10月の国勢調査の結果では1億2711万人となり、5年前の前回調査結果より約95万人減少しました。また総務省が1月29日に公表した2015年の人口移動調査報告によると、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、4県を範囲とする東京圏は依然として転入者が転出者を上回っているものの、大都市圏でも名古屋圏と大阪圏は減少しており、47都道府県中39道府県で流出超過の状況であります。

急激な人口減少、しかも高齢化の進行は、社会保障制度、労働力人口の減少に伴う産業の将来、また地域活力の維持などその影響は大きく、全国の自治体は生き残りをかけた厳しい対応に迫られています。政府はこのような東京一極集中に歯止めをかけ、総合的な政策を強力に推進するため、一昨年「まち・ひと・しごと創生本部」を設置しました。その本部で検討して決定した国の「総合戦略」では、2020年までの5年間に国と地方自治体が実施する政策及びその目標を定めています。その骨子の一つが地方に30万人分の雇用をつくることでもあります。企業を税制面で優遇し、地方の主要産業である農林漁業を支援し、また外国人の観光客を増やすなどの観光振興対策を進め、熱意ある地方の創意工夫を全力で応援するというのがあります。

安倍首相は1月22日に衆参両議院で施政方針演説を行いました。政権の目指すべき方向として、「地方創生への挑戦」と「1億総活躍社会への挑戦」を掲げました。新たに提唱する「1億総活躍社会への挑戦」については、「女性も男性も、お年寄りも若者も、一度失敗の経験のある人も、障害や難病のある人も、誰もが活躍できる社会であり、その多様性の中から新たなアイデアが生まれ、イノベーションが湧き起るはずだ」と述べ、それについての具体的な政策を述べています。私は、わが村の元気を維持するには、「補欠のいない、すべての村民が主役となるむらづくり」が重要だと考えており、安倍首相の提唱には共感するものがありま



す。

さて、地方においては、政府の総合戦略に基づいて都道府県、そしてすべての市町村が長期人口ビジョンと総合戦略を策定することになりました。

わが村では、ちょうど第6次総合計画の策定期に当たることから、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法など村が指定を受けている地域振興諸法を十分に活用し、総合戦略と連動させる形で、関川村むらづくり基本条例に従い、策定作業を進めてまいりました。まずは、外部委託をせずに自前で計画づくりをするという方針のもとに、全庁的な職員体制で素案をまとめ、それを若い村民のみなさんを中心とした40人の委員で構成する関川村総合振興審議会に諮問しました。審議会では会を重ねながら鋭意検討していただき、成案を得て2月上旬に答申をいただきました。それを基本とした第6次関川村総合計画について、今回の議会に議案として提案いたします。

この第6次総合計画は、平成28年度を初年度とする10カ

年の「基本構想」と、5カ年の「基本計画」及び「コミュニティ単位計画」及び「54集落の活性化計画」による2本建ての「地域別計画」から構成しております。

また、国の方針に基づいて、昨年12月に平成27年度を初年度とする5カ年の「総合戦略」及び「人口ビジョン」を決定しました。人口ビジョンでは、昨年の10月に行われた国勢調査の人口5,835人が、2060年では3,400人を確保することを目標に掲げました。国立社会保障・人口問題研究所（略・社人研）の将来推計より多い数値であります。それに基づいて当面実施すべき施策が「総合戦略」であります。状況の変化などにより毎年進捗管理を行い、必要によって見直しながら、着実に政策が進展するように努める決意であります。

さて、平成28年度の政府予算案は1月22日に国会に提出され、現在審議中であります。一般会計総額は過去最大の96兆7218億円となり、地方経済の活性化や少子化対策に重点を置き、積極的に人口減少対策を推進するとしていま

す。

これに関連して政府は12月に地方財政計画を閣議決定し、国会に提出しました。この地方財政計画は、国の地方対策の指針を定め、かつ地方の財政運営が安定的に行えるように一般財源総額を確保するためのものであります。計画の規模は前年度を0・6パーセント程度上回る85兆7700億円程度となり、地方の一般財源総額についても約1300億円増額し、61兆6800億円程度との説明です。

以上のような国の政策が、自主財源が少なく地方交付税などに頼っているわが村にどのように影響してくるのか、注目していきたいと考えています。

以下、これらを踏まえた平成28年度の村行政の考え方について、総合計画の区分に従いご説明します。

《住みよい暮らしづくり》

はじめに、「コミュニティ組織と集落における地域活動の充実」についてであります。

高齢化が急速に進行する村にあつては、地域内の諸団体

との協働に期待するところが大きくなっています。集落やコミュニティ組織の重要性はいつそう増しており、そのためにも、それぞれの組織が自主性を尊重して円滑に運営ができますよう、村として多面的に支援し、共に発展を目指します。

キラリと光る地域活性化事業は、村税総額のおおよそ1パーセントを財源に、村民のみなさんやグループの自発的な提案を実現するものとして定着してきていると思います。これまでの取り組みで様々な効果が期待されるとともに、問題点の指摘もありますので、それらを改善しながら継続い



たします。

村内の公共施設の多くは、昭和42年の羽越水害後に建設されており、まもなく50年を経過するため老朽化が進行しています。その延命対策、更新に加え、施設の利用促進も中長期的な大きな問題となっており、計画的な対応が必要であります。

《安心して暮らせる条件の整備》

公共交通の確保について、村内の路線バスとJR東日本の米坂線については、いっそう利用しやすくなるよう関係会社と協議を重ねており、将来とも存続することと利便性の向上に努めます。なお、村内では交通機関に恵まれない地域も多いことから、通院や買い物などに役立つよう村内のタクシー業者との連携のもとに「デマンド交通モデル事業」を昨年9月から6か月間試験的に運行しました。予想以上に利用者が少なかったため、検証のうえ今後のシステムを検討したいと思います。村内の家庭から出るゴミについて、収集は村で行うもの

の、焼却処理は村上市に委託しています。村上市の新しい処理施設が昨年完成しましたので、分別などで村民の協力を得ながらこの仕組みを継続してまいります。昨年も申しあげましたが、関川村の住民一人当たりの年間ごみ排出量は、県内30市町村中3番目に少なくなっており、村民のみなさんの減量努力に感謝しているところでもあります。

いま首都圏や東海、東南海地域で大規模な地震・津波の発生が想定されるなど、全国で防災・減災への備えの重要性が認識されています。防災には自助・共助が重要であります。各集落単位の自主防災会で組織している関川村自主防災会連絡協議会と村により、一昨年、全村の防災訓練を実施したところでもあります。これの反省と検証とともに、中心会場を移動しながら隔年で訓練を実施することとしています。今年は10月23日に女川地区をメイン会場に実施することとしています。併せて、防災士資格の取得や、自主防災会それぞれで行う避難訓練や装備の充実にも支援し、防災意識の高揚に努めます。

昭和42年8月28日に発生した羽越大水害から来年で50周年を迎えます。二度とあのような惨事が発生してほしくないという思いと、それに備えた意識高揚のために、いま国や県などとともに周年事業の実行委員会を立ち上げました。従事する職員のほとんどが世代交代し当時の体験が乏しいため、まず記録映画や記録などから当時の状況を認識することから始め、記念事業の検討を行います。今後具体的な内容がまとまりましたときには詳しくお知らせし、ご協力をいただきたいと思います。

村の消防団は昨年、団員確保が顕著であるという功績により、消防団長が上京して総務大臣から直接表彰状が授与されました。今年の4月からは機能別の団員をさらに増員し、各分団にも機能別の団員を配置することになりました。交通事故は、全国的に件数、死亡者数ともに年々減少しています。村内の運転免許保有率は、平成25年12月末で新潟県内第15位の69・0パーセントであり、高齢者の免許保有者も多くなっています。高齢者が係る交通事故が多いこと



から、安全運転の啓発が重要であります。また、村内は飲酒運転が多いと関係方面から指摘されており、関係団体とも連携して、いっそう撲滅を目指し啓発活動を推進します。村内の交通確保に重要な「道路整備」についてであります。

国道113号に沿って進められている地域高規格道路新潟山形南部連絡道路は、「鷹ノ巣道路」が用地確保に目途がたちつつあることから進展が期待されます。また金丸―小国町間12キロの「小国道路」については、早期着手となるよう沿線自治体と連携して国

に要望してまいります。

県管理の国道290号の改良工事については、上土沢から国道113号間の事業が順調に進むものと期待しています。その完成を待って、高田橋以北の既定路線の整備を促進するよう県に対して要望を重ね、実現するように努めます。

村道整備と改修につきましては、各集落からたくさんの方の要望をいただいています。財源の確保に努めながら緊急度を確かめつつ対応してまいります。

《誇れるふるさと》

自分の住むふるさとに誇りと自信を持つことは、心の豊かさを保つ大切な要素であると思います。それには、先人が大切に維持してきた自然環境を保全し、これまで培われてきた歴史や文化をいっそう大切にしなければなりません。

また、村内の人的資源の発掘と能力を発揮する場の提供が必要であります。村内には長い歴史のなかで育まれた文化財があり、それを大切に保存継承することも重要であり

ます。昭和21年に「6・3・3制」の実験校として「関谷学園」が文部省から指定されて70年、小学校と中学校の児童・生徒にはぜひそれらのことを知っていただき、村の優れたところを理解してもらえよう努めたいと思います。

なお、全国の優れた自然環境の地で開催されてきた全国ホテル研究会の全国大会について、平成29年には関川村を会場に開催することになりました。今年はその準備を進めます。

《地域を担う産業の振興》

まず、「産業に関する概況」についてご説明します。

国の地方創生の目標のひとつは、地方で30万人の雇用を創出することです。東京にある移住相談組織などにより、地方への移住希望者が増加傾向を示しているなかで、最も多い問い合わせは「働く場があるかどうか」ということでもあります。また村の若い人たちが村内に定着していただくにも、働く場を準備することが重要な要素のひとつであります。

雇用動向が改善しているとはいえ、雇用条件の良い企業の立地は容易ではありません。村内の産業間の連携も重要であります。村内には、農協の支店、商工会、観光協会、温泉旅館組合、その他多くの経済関係の任意団体があります。6次産業化の促進、相互協力による売れる産物などの開発、村外企業との関係強化、地産地消の推進などに支援したいと考えています。

また県内の金融機関では、国の地方創生事業に呼応して顧客を増やそうと新たな取り組みを始めました。そのひとつとして、昨年村上信用金庫と包括的な内容で連携協定を締結しています。

村内資源の活用では、農林業の生産物及びその加工、再生可能エネルギーの利用、また人的資源の活用など仕事づくりとして可能な資源がたくさんあります。なかでも再生可能エネルギーの活用は、国内の大きな潮流となつていきます。

足掛け4年になる木質バイオマス発電事業の導入は、雇用創出と林業振興、関連産業への波及を目的にしており、

県北の林業関係者から大きな期待が寄せられています。

現在、事業主体となる株式会社パワープラント関川において条件整備を進めているところでありますが、すべての資金が外部に求めていることもあつて、資金提供者の意向に沿つて対応しなければなりません。事業推進の大きな条件である木材の確保、国の事業認定など、資金を除く条件の整備はほぼ終えております。資金についてもまもなく実現の見通しであります。事業実現の暁には、村の発展に大きく貢献するものと期待しています。

《農林業の振興》

国の「新たな農業・農村政策」は、農地中間管理機構の創設、日本型直接支払制度の創設など4つを改革の基本にして実施しています。国は、平成30年産を目途に行政による生産数量目標の配分を廃止するというのですが、その後どのようなかはまだ不透明であります。

村内の農業は、生産性が低く、コメ以外の作物に取り組



むことにも課題が多いこともあり、どのようにしたら農業所得が高められることができるのかが課題であります。TPP（環太平洋経済連携協定）の合意により厳しい局面も予想されますが、これをチャンスにしたいという積極的な意見もあり、国や県の制度を最大限活用しながら、農地の維持と経営の効率化を支援します。また輸出などの道も模索し、魅力を感じる農業の実現に積極的に努めたいと考えています。

一方で、県営事業として女川左岸地域約250ヘクタールの整備事業が本格化します。村も財源の一部を負担しながら

ら土地改良区が主体となつて取り組んでいます。早期に完成させたいものであります。

昨年12月に「COP21」（コップ21・第21回国連気象変動枠組み条約締結国会議）で合意された「パリ協定」は、温暖化による気温上昇を産業革命前と比べて2度未満に抑えるという「2度目標」が明記されました。これにより世界各国で地球温暖化対策をいっそう進めなければなりません。日本でその対策の中核を成すのが森林であります。

わが国の山林は、戦後に整備された人工林の半数が本格的な利用期を迎えていることから、林野庁がまとめる今後10年間の森林・林業基本計画ではその利用を高めて目標を達成する方針であります。森林は、適度の更新によつて活力を再生させます。そのためにも村では、森林組合を中心にして村有林を含めて山林の手入れを進めてきています。今後も林道整備をはじめいっそう村内林業の振興を図ります。また、長年の懸案でありました県営岩船東部線林道整備事業は、大きく前進する見通しとなりつつあります。

一方、林業振興につながる不

明確な境界の確定をしようとして、今年若山、小見、上野山地区まで調査エリアを広げて実施いたします。

《商工観光の振興》

関川村商工会は昭和36年2月に設立されて今年55周年となりました。設立当初から事務所が数回移転しましたが、昭和55年12月に現在の商工会館が竣工し36年目になるうとしています。商工会からの要請もある関川村小規模企業の振興に関する基本条例の制定議案を今回の議会に提案します。商工会、観光協会、温泉旅館組合など関係団体の連携によりその基本目標を前進させたいと思っており、また観光協会の強化などその仕組みづくりの検討も進めたいと思っています。

政府は、外国からの観光客（インバウンド）をいっそう増加させる目標を掲げています。村としても、その誘客対策や、施設の見直しと集約など、実施できるものは早期に取り組みします。

わかぶな高原スキー場について、今シーズンは実質営業開始が1月10日になったことから、昨年を大幅に下回る入込客数であります。スキー場は、村の冬の観光には欠かせない施設であり、老朽化する施設の計画的な改修を行うとともに、運営会社である株式会社わかぶな高原への支援を行ない、また地元の協力もいただきながらいつそうの発展に期待しています。

《交流から定住へ 促進するために》

昭和58年4月に事業を開始した「いで湯の関川ふる里会」は、まもなく34年目となり、去る2月には東京において盛大に交流会を催しました。関川村のファンクラブでもある「いで湯の関川ふる里会」の会員のみなさんには、「ふるさと納税」でも大きく貢献していただいております。同時に、発足した首都圏在住関川村人会とともに大切な村の財産であります。

また、10年以上の交流の歴史がある「国際ボランティア学生協会（IVUSA）」から

は、毎年数回のボランティア活動をしております。村の活性化のために継続してさらなる交流をお願いしたいと思います。

柏崎刈羽原子力発電所において大きな事故が発生した場合に、30キロ圏内の地域住民は一斉に避難することになっており、県の指導に基づき関川村には出雲崎町の住民4千人あまりが避難してくる計画が定められています。これらを契機にして、関川村と出雲崎町のみなさんの交流を推進したいと考えています。災害はいつ発生するかわかりませんが、受け入れるだけでなく、関川村が出雲崎町のみなさんにお世話になることもあるかもしれません。それには、災害だけでなく様々なことで常に交流を重ねることが大切であり、その推進に努めます。

《移住・定住対策》

村内への定住促進には、住環境の整備と雇用の確保、起業支援など、生活に必要な収入の確保が必要であります。そのひとつ、若者の定住を住環境から整備しようと3期に

わたって進めた住宅の整備について、今後さらに需要状況を確認し推進いたします。これまで数次にわたって実施してきた宅地分譲事業は、66区画が完売したことから、できるだけ早く次の事業を推進いたします。

配偶者対策は、それぞれ個人の人生に関わることであり、短期間に大きな効果を挙げることは難しいのが現状であります。村としても出会いの機会を増やすことや、有志のみなさんの自発的な動きがいつそう顕著になるよう支援してまいります。

《切れ目のない子育て 支援のために》及び

《村民みながいいきと 暮らせるために》

「教育」についてであります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が昨年の4月1日から施行されました。教育委員会制度では、従来の委員長と教育長の権限を合わせた「新教育長」制度に移行し、また新たに教育に関する大綱を策定することなどを審議する



「総合教育会議」を設置することになりました。総合教育会議は首長が招集し首長と教育委員をメンバーとしており、村では今年3月初めに村長が招集して初めての会議を開催し、教育大綱などを審議いたしました。

村内1校に集約された小学校と中学校はそれぞれ教職員保護者、地域のみなさんのご協力と努力により、円滑に運営されています。ただ児童数の減少に伴って、学級数が減少し教員も減らされますので、授業の充実のために村では教員の補助員を確保し、これを

補っています。

これまで小学校で進めていましたICT活用教育を、新年度からは中学校まで拡大し、小中連携・一貫教育として取り組むことにしました。なお、懸案でありました関川中学校の野外運動施設の整備については、平成27年度で竣工しました。

村民のみなさんの生きがい対策では、生涯学習が健康づくりとともに重要であります。また世代間交流や生きがいを醸成する役割が期待されますので、指導者を確保し、誰もが気軽に参加できるようにいたします。

次に「保護者負担の軽減」についてであります。

村ではすでに医療費支援を高校卒業まで拡大しているほか、保育料の軽減、ワクチン接種の無料化や不妊治療に対する助成、高校通学定期券購入費の補助、学校給食費の助成などを実施してきました。

今年度は、さらに大学生への奨学金制度を前向きに見直し、村内定住につながるようにしたいと思っております。

子育てには、保護者負担の軽減のほか、育児支援、相談

業務、仕事と生活の調和、労働と家庭のバランスなどの課題もあり、国や県との連携により充実させていきたいと考えています。

《福祉と健康づくり》

終戦後の混乱期に生まれたいわゆる「団塊の世代」が、平成35年には75歳以上の後期高齢者となり、医療・介護・年金・生活支援などが大きな課題となっています。小規模自治体であっても、必要な対応はしなければなりません。

地域包括支援センターは、介護などについて最初に相談にあずかる重要な業務を担当していますが、年々業務量が増大し、またその内容も専門化、複雑化してきているため、4月から社会福祉士の資格を持つ正規職員を配置します。

社会福祉政策では「共助・公助」という考え方を基本としています。共助では集落、コミュニティ組織の取り組みとともに、社会福祉協議会との連携が重要であります。社会福祉協議会の主要事務所となっている社会福祉センターは、平成2年11月に竣工して

以来25年が経過し、業務の拡大に伴う職員数の増加で事務スペース不足を来し、増築の検討を開始しています。状況が整いましたら予算措置し、できるだけ早く進めたいと思っています。

健康づくり運動は、その指針である「健康せきかわ21」に沿って事業を実施しています。なかでも村民の意識高揚が重要であり、村民挙げて健康づくりができる機運を高め、早期発見、早期治療となるよう、予防活動を進めてまいります。

自殺対策について、国や自治体の責務を定めた自殺対策基本法が国会で改正される見通しであります。この改正は、自治体ごとに自殺対策の計画づくりを義務づけるのが柱となっています。全国的には自殺者数は減少傾向にあるものの、実効性を高めるため地域の実態にあったきめの細かい対策が必要であるとの考えがあります。村は、過去10年間の人口10万人あたりの件数が新潟県内30自治体で突出してトップとなり、その対策が急務であり、関係するみなさんとの連携のもとに自殺予

防対策を推進してまいります。

医療の確保では、村の国民健康保険関川診療所の維持と地域内の開業医院の先生からご協力を得て、また県立坂町病院、厚生連村上総合病院などとも連携しながら、その充実に努めます。このたび、新潟県ハビリテーション大学との間で、包括的な協定を結ぶことになりました。これを有効に活用し、村の福祉や健康づくりの課題解決に努めます。

村の国民健康保険事業について、財政的に危機的状況となっています。厚生労働省が2月に発表した、平成26年度の全国市町村が一般会計からの支援総額は3585億円でありました。こういった状況を踏まえ、国は平成30年度から国民健康保険の運営を、現在の市町村単位から都道府県単位に移行することを決定しています。

《無駄のない健全な行政の運営のために》

村上・岩船圏域はもちろん、近隣市町村とは文化・経済・社会などあらゆる分野で協力を関係にあります。共通の事務

を共同で処理することや、様々な課題に対し一緒に対応する組織などへの参加も、村を維持し発展させるためには欠かせないものであります。総務省の定住自立圏構想推進要綱により、昨年、村上市と関川村、粟島浦村がそれぞれ協定を締結し、議会の議決をいただいて「共生ビジョン」を決定しました。それに従い、国の支援を得ながら共通の課題への対応を進めています。

「ふるさと納税」については、平成27年度からコメを返礼品に採用してその推進に努めました。平成28年度からは村で生産、確保できる品物を多く揃えて、納税促進に努めることにし、いま品物の確保について検討を進めています。

効率的な行政運営を行うには常に改善が必要です。平成15年3月に市町村合併に加わらずに自立する方針を決めて以来13年、職員数はピーク時から約30数人削減してきました。今後数年間で幹部職員が大勢定年退職する見通しであることや、将来の職員の人事構成から、計画的な人事行政が必要であります。今後

とも、直接行政事務に携わる職員の健康保持とモチベーションを高めて効率的に行政を進めることが肝要であります。セクションごとの機能強化と職員一人ひとりの能力を高めるため、国内外に関するものなどの情報を共有して視野を広げ、研修の機会を増やし、自己啓発の機運をいっそう高めます。また、法律に基づく人事評価制度の導入も実施します。

結びに、様々な課題や問題が山積する村政ではありますが、先人が築き上げた歴史と伝統を大切に、関川村を発展させて後世に伝えていくため、村政の責任者として一生懸命に努力する覚悟であります。村議会をはじめ村民のみなさんのいっそうのご支援とご協力をお願いし、平成28年度の施政方針説明といたします。



平成28年度 当初予算

人口減少対策(移住・定住促進)・ 子育て支援に重点

一般会計予算規模は49億6,200万円

一般会計の総額は49億6,200万円。移動系防災行政無線のデジタル化、わかぶな高原スキー場のリフト改修をはじめ、桂の関温泉ゆ〜むの設備改修、せきかわ歴史とみちの館の空調設備改修などの投資的経費の増加によって、昨年度よりも1億9,300万円多い積極型予算となりました。

また、全国的な課題である人口減少対策（移住・定住促進）として空き家バンク事業の確立、婚活支援事業の実施、移住・交流に関心を高めてもらうための村内シンポジウムの開催などに取り組みます。

さらに保育園での多子世帯の保育料負担軽減、関川小中学生を対象とした学校給食費補助、高校生及び中等教育学校生を対象とした通学用定期券の補助などを充実させ、切れ目のない子育て支援に取り組んでいきます。

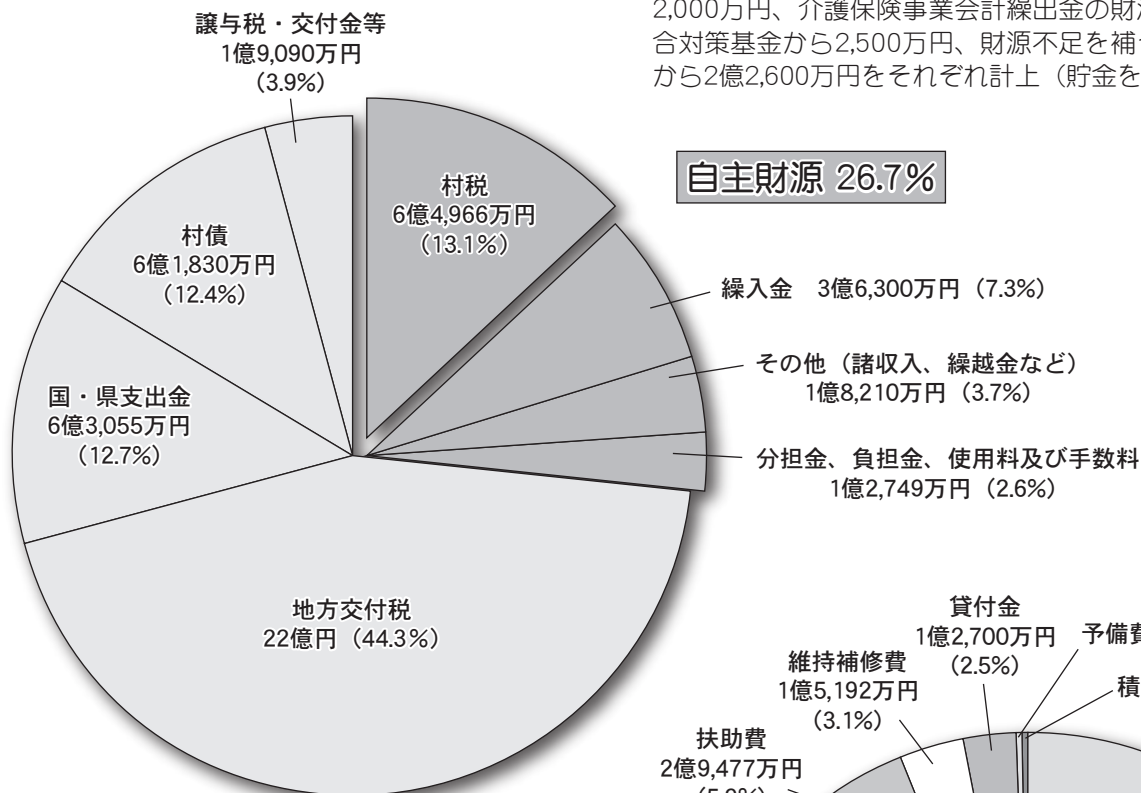
■各会計の当初予算

会 計 名		平成28年度予算	平成27年度予算	前 年 比	
				増減額	増減率
一 般 会 計		49億6,200万円	47億6,900万円	1億9,300万円	4.0%
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	7億5,000万円	7億5,000万円	0万円	0.0%
	国保関川診療所特別会計	6,230万円	6,340万円	▲110万円	▲1.7%
	介護保険事業特別会計	10億530万円	10億720万円	▲190万円	▲0.2%
	後期高齢者医療特別会計	5,930万円	6,430万円	▲500万円	▲7.8%
	村有温泉特別会計	660万円	1,810万円	▲1,150万円	▲63.5%
	宅地等造成特別会計	210万円	220万円	▲10万円	▲4.5%
	簡易水道特別会計	3,920万円	4,820万円	▲900万円	▲18.7%
	公共下水道事業特別会計	4億3,900万円	4億5,800万円	▲1,900万円	▲4.1%
	農業集落排水事業特別会計	1億600万円	9,400万円	1,200万円	12.8%

水道事業会計		平成28年度予算	平成27年度予算	前 年 比	
				増減額	増減率
収益的収支	収 入	1億874万円	1億879万円	▲5万円	0.0%
	支 出	1億864万円	1億869万円	▲5万円	0.0%
資本的収支	収 入	120万円	1,000万円	▲880万円	▲88.0%
	支 出	7,785万円	9,108万円	▲1,323万円	▲14.5%

歳入 (一般会計)

49億6,200万円



依存財源 73.3%

●繰出金

下水道会計や水道会計など、料金収入で賄いきれない特別会計に対して支出するものです。

その他国保会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計などに対する、法律に基づいた村の負担金も含まれています。

●公債費

公債費とは借金返済額のことです。前年度より1,890万円減少しています。

●投資的経費

道路、橋りょうなど各種社会資本の新增設を行う際の経費です。国の社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化している消雪パイプの更新事業や橋りょう点検など、前年度よりも5,523万円増加しています。

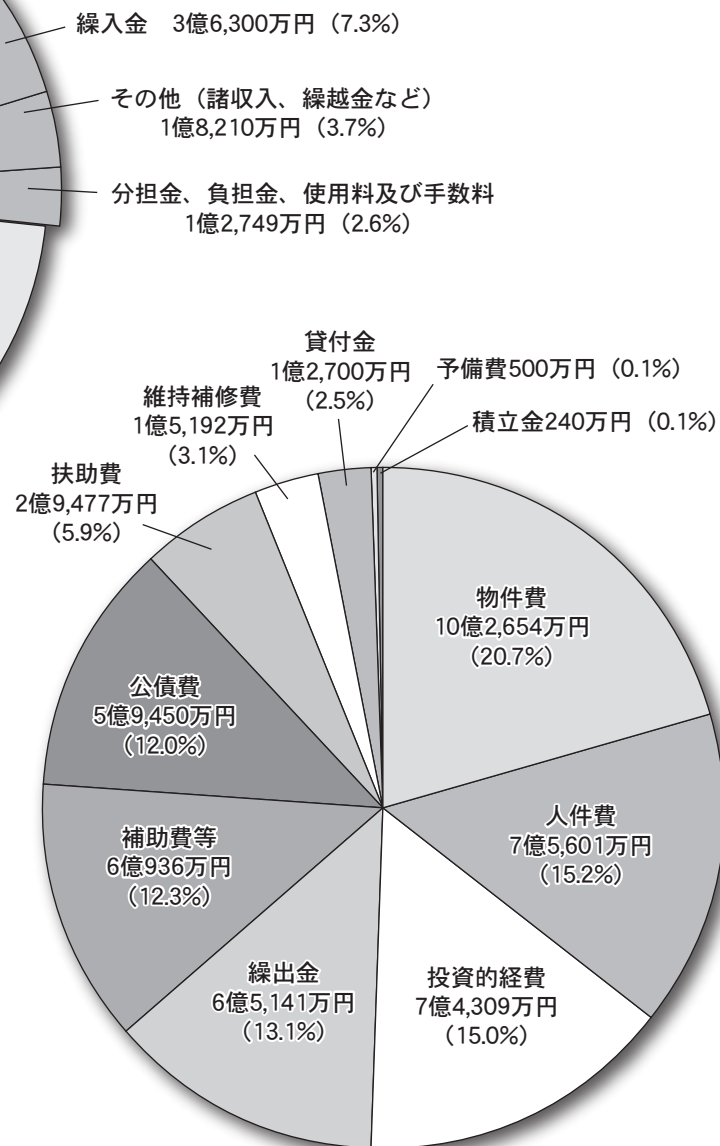
●村税

固定資産税は3億9,836万円。村民税は1億7,431万円、たばこ税は3,894万円、入湯税は1,796万円、軽自動車税は1,802万円となっています。

●繰入金

主なものは、わかぶな高原スキー場リフト改修工事の財源として商工観光振興対策基金から4,650万円、荒川郷ごみ焼却施設解体事業負担金の財源として環境衛生施設整備基金から2,000万円、介護保険事業会計繰出金の財源として社会福祉総合対策基金から2,500万円、財源不足を補うため財政調整基金から2億2,600万円をそれぞれ計上 (貯金を取崩) しました。

自主財源 26.7%



歳出 (一般会計)

49億6,200万円

予算の使いみち

人口減少対策

婚活支援事業として結婚相談所の入会時にかかる費用の全額助成制度に50万円を計上。さらに空き家バンクをホームページ上に開設し、空き家を活用して移住・定住を促進します。また、移住・交流に心を高めてもらうためのシンポジウムを開催。それらの経費に46万円を計上しました。

子育て支援

学校給食費の補助

小学生・中学生を対象とした学校給食費の補助制度に875万円を計上。小・中学生とも月額2000円を助成し、子育てにかかる負担を軽減します。

子ども通院・入院医療費助成

子ども通院・入院医療費助成は、高校卒業まで通院1回530円、5回目以降は無料、入院は1回1200円の自己

負担とする制度に1650万円を計上しました。

通学用定期券の購入補助事業

高校生と中等教育学校生を対象とした通学用定期券の補助制度に350万円を計上。定期券購入額の30%を助成します。

予防接種費用

1865万円を計上し、感染症などの予防対策に力を入れます。幼児の細菌性髄膜炎による障がい発症を予防するヒブワクチン接種と、小児肺炎球菌接種費用中学1年生女子を対象とした子宮けいがん予防ワクチン接種費全額助成も継続します。

出産支援

少子化対策として、年間10万円を上限とした不妊治療補助金に60万円を計上。初期治療から支援できる要件となっています。

妊婦一般健康診査には44

4万円を計上。安心して出産できるように全額助成を行います。

教育環境の充実

情報通信技術

(ICT)事業の充実

小・中学校での情報通信技術(ICT)事業に2425万円を計上。中学校は今年度から事業を実施。全学年で電子黒板やタブレット端末を利用し、更なる学習意欲の向上を図ります。

小・中学校の通学費及び教員助手の配置

小・中学校の通学費には定期券代1155万円、臨時バス借上料145万円、スクールバス運行費3319万円をそれぞれ計上。教員助手の配置費には2486万円を計上し、小・中学校合わせて13名分を計上。県内でもトップクラスの指導体制で、きめ細かな教育環境の充実を図ります。

給食費

給食費では、放射性物質検査を継続し、食材の安心安全を確保するとともに、地産地消の食材も取り入れて、美味

しい給食を提供します。

医療福祉の充実

地域医療の充実

村民が安心できる地域医療体制を確保するため、平日夜間の急患診療(内科・小児科)を村上市に委託します。

また、村上総合病院の休日診療体制の補助金に165万円、医療設備導入の補助金23万円をそれぞれ計上しました。

高齢者福祉

高齢者が安心して健やかに暮らすことができるよう、在宅生活を支援する福祉サービスを継続します。さらに、地域の茶の間事業や元気はつらつ事業など、介護予防対策の充実を図ります。

各地区の老人クラブ補助金に99万円、地区敬老会補助金に228万円をそれぞれ計上。村社会福祉協議会への補助金は2438万円としました。

国民健康保険・介護保険

国民健康保険特別会計繰出金は7683万円、介護保険特別会計繰出金は1億7755万円をそれぞれ計上。保険基盤の安定と制度の充実を図

ります。なお、75歳以上の介護保険未利用者の方に対する商品券代として、330万円を計上しました。



産業の振興

農業

水田活用推進補助金には1641万円を計上。国の政策に注視しながら対応します。中山間地域等直接支払交付金には1973万円を計上。新規事業である農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対する支援を行う多面的機能支払交付金5717万円を計上しました。

地産地消推進対策費には173万円を計上し、保育園、小学校、中学校への地元農産物の提供をはじめ、あいさい市利用促進事業として出荷手数料の5%を助成します。農地耕作条件改善事業289万円、県営土地改良事業負

担金は4782万円をそれぞれ計上し、土地改良事業の推進を図ります。

林業

林業振興として森林環境保全直接支援事業補助金をはじめ、国の政策と連動して総額2253万円の補助金を計上。さらに、林道板橋線舗装事業に1980万円を計上し、林業活性化を推進します。

商工観光

商工会補助金には648万円を計上。経営支援事業をはじめ、空き店舗対策や地域商店街の活性化事業を支援します。さらに村内消費拡大を目的としたプレミアム商品券発行事業に1100万円を計上しました。

ゆゑむの運営に6033万円、村有観光施設の管理費として6057万円をそれぞれ計上し、運営を管理公社に委託します。

ゆゑむ設備改修工事に6326万円を計上。わかぶな高原スキー場関連工事に5190万円を計上し、観光施設の整備更新を行います。



生活環境衛生の確保

ごみ・汚水処理

ごみ処理では、収集委託料に4141万円、村上市へのごみ処理運営費委託料に2352万円をそれぞれ計上しました。

汚水処理では、合併処理浄化槽設置補助金に480万円、胎内市清掃センターし尿処理委託料に2192万円、下水道事業会計（公共下水道事業・農業集落排水事業）繰出金に3億2338万円をそれぞれ計上しました。

水道

安心な飲料水を供給するため、水道事業会計に2194万円の補助金を計上。また、簡易水道特別会計には872万円を繰出し、住民の生活環境衛生を確保します。

安心安全の確保

安心・安全対策

自主防災組織の推進と育成に40万円、要援護世帯への雪下ろし補助金に60万円、集落への除雪機械購入補助金に60万円をそれぞれ計上しました。今年度から防災士の資格取得事業補助金に61万円を計上し、自主防災組織を支援します。

防災

東日本大震災後の情勢の変化に対応した地域防災計画の見直しに248万円を計上し、大規模災害の発生に備えます。災害時に避難所となる関川中学校に防災備品庫設置費80万円を計上。これらの事業は、個人住民税均等割税率改正による増額分を財源として実施します。

老朽化対策

国の社会資本整備総合交付金を活用して、橋りょう点検に1800万円、老朽化した消雪パイプ更新に6800万円それぞれ計上。村単独事業における道路の改良や維持修繕、消雪パイプの更新、交通安全施設などの工事費は、1

億2128万円としました。各集落からの要望か所を確認し、老朽化の程度や必要の高い所に予算を配分しています。

消防団

消防団運営費に2749万円、消火栓更新に700万円、消防積載車1台購入に420万円をそれぞれ計上し、消防団活動を支援します。また、耐震性貯水槽整備に2930万円を計上。設置は下関、久保を予定しています。

除雪経費

除雪経費は、消雪パイプ電気料や修繕料、除雪委託料など1億2378万円を計上。また、除雪ドーザ更新に6372万円を計上し、冬期間の安心安全を確保します。



暮らしの充実

住宅リフォーム（改修）の

補助金を継続します。10万円以上の改修工事費に対し10%を基本として補助するもので、村内事業者への発注が条件となっています。

電源立地地域対策交付金

発電所の設置自治体の活性化等を目的に国と県から交付されるもので、鷹ノ巣発電所（水力発電）が対象となっています。交付される440万円は、村道の補修工事に要する経費に充当する予定です。

地方消費税交付金

歳入における地方消費税交付金は、消費税率引上げによって前年比3000万円の増額を見込んでいます。引上げ分については、「社会保障施策に要する経費」に充てるとされており、当村では各種健診（検診）や予防接種に要する経費に充当します。

平成28年度の主な事業内容をお知らせします

議会費

議会活動費	425万円
-------	-------

総務費

行政連絡事務委託料	1,270万円
不動産鑑定評価委託料	299万円
地域防災計画作成委託料	248万円
防災士取得事業補助金【新規】	61万円
地方情報通信事業費(Wi-Fi整備)【新規】	610万円
空家バンク事業業務委託料【新規】	30万円
婚活支援業務委託【新規】	50万円
村づくり総合推進事業補助金	495万円
通学用定期券購入補助金	350万円
廃止路線代替バス運行費補助金	2,429万円

民生費

村社会福祉協議会補助金	2,438万円
国保会計繰出金	7,683万円
後期高齢者医療広域連合負担金	1億226万円
介護保険会計繰出金	1億7,755万円
後期高齢者医療会計繰出金	2,761万円
通園バス運行事業費	600万円
地域生活支援事業委託料	1,613万円
下越障害福祉事務組合負担金	818万円
心身障害者福祉タクシー助成補助金	127万円
介護給付費訓練等給付費(心障)	1億1,940万円
ひとり親家庭医療費助成事業費	387万円
児童手当給付費	7,550万円
保育園臨時雇用賃金【拡充】	2,482万円

衛生費

時間外急患診療業務委託料	30万円
病院群輪番制病院運営費負担金	188万円
健康づくり対策費	197万円
成人病予防健診・特定健診委託料	1,269万円
個別予防接種委託料	1,865万円
妊婦健診等委託料	444万円
不妊治療補助金	60万円
医療費助成事業費	1,650万円
村内ごみ収集委託料	4,141万円
ごみ処理運営費委託料	2,352万円
胎内市清掃センター委託料(し尿処理)	2,192万円
診療所会計繰出金	1,060万円
水道事業会計補助金	2,194万円
簡易水道会計繰出金	872万円

農林水産業費

有害鳥獣駆除対策事業費	285万円
水田利活用推進補助金	1,641万円
地産地消推進対策費	173万円
中山間地域等直接支払交付金	1,973万円
畜産振興費	725万円

国土調査事業費	3,083万円
多面的機能支払交付金	5,717万円
農業水利施設保全合理化事業	1,300万円
県営土地改良事業負担金	4,782万円
農業集落排水事業会計繰出金	6,513万円
林道舗装事業費	2,130万円
森林環境保全直接支援事業補助金	1,144万円

商工労働費

関川村商工会補助金	648万円
プレミアム商品券発行事業補助金	1,100万円
関川村観光協会補助金	1,560万円
村有観光施設管理委託料	6,057万円
ゆ〜む管理委託料	6,033万円
ゆ〜む設備改修工事	6,326万円
わかぶな高原スキー場関連工事	5,190万円
わかぶな高原スキー場経営安定貸付金	2,000万円

土木費

道路除雪対策費	1億2,378万円
除雪ドーザ購入費	6,372万円
道路橋りょう維持費(工事費)	5,000万円
道路橋りょう整備費(道路改良工事)	2,150万円
道路橋りょう整備費(消雪施設工事)	9,100万円
道路橋りょう整備費(交通安全施設)	100万円
木造住宅耐震診断補助金	165万円
住宅改修事業補助金	500万円
公共下水道事業会計繰出金	2億5,825万円

消防費

消防団運営費	2,749万円
常備消防運営委託料	1億5,188万円
移動系防災無線整備費	8,600万円
耐震性貯水槽整備費(2基)	2,930万円
消防ポンプ積載車購入(1台)	420万円

教育費

スクールバス運行事業費	1,824万円
スクールバス購入(2台)	1,520万円
小中学生通学バス定期券購入費	1,155万円
教員助手等臨時雇用賃金	2,486万円
情報通信技術(ICT)システムリース料	1,434万円
放課後子ども教室事業費	253万円
発掘調査費	1,172万円
せきかわ歴史とみちの館空調設備改修費	4,200万円
せきかわ歴史とみちの館管理費	924万円
ふれあいど〜む管理委託料	737万円
ふれあいど〜むトレーニング施設整備費【新規】	760万円
給食費	3,474万円
学校給食費補助金	875万円

公債費

地方債元利償還金	5億2,100万円
----------	-----------

みなさんの事業創造を応援します！

平成28年度『キラリと光る地域ビジネス創造事業』

むらづくり総合推進事業(地域力緊急対策)

村では、平成22年度からみなさんのアイデアを活かした地域課題の解決や地域活性化を図るため「キラリと光る地域活性化事業」を実施、これまで様々な事業が実施されてきました。

今年度からは、皆さんのアイデアで、「雇用対策」「若者定住」「産業育成」による地域活性化を図るため、地域に根差した新事業立ち上げを応援する「キラリと光る地域ビジネス創造事業」に生まれかわります。

今までにない発想での新たなビジネスに挑戦してみませんか？

- ◆募集〆切 5月31日(火)
- ◆対象者 コミュニティ・集落・企業・任意団体など(当村に活動拠点があること)
- ◆対象事業 「雇用対策」「若者定住」「産業育成」による新たな事業
- ◆補助金 総額700万円(補助率100%以内)
- ◆審査会 6月予定

※詳しい日時などは、今後の広報せきかわでお知らせします。

【問い合わせ・申請先】総務課企画財政班 ☎64-1476



最高
20万円

使いやすい制度が人気！H27年度は60件の申請 住宅リフォーム補助金制度

村では、村内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、村内の施工業者によって個人住宅のリフォーム工事(改修・補修・修繕)を行う村民を対象に補助金を交付します。

補助対象となる工事費

補助対象額が10万円以上のリフォーム工事です。

補助金の額

補助対象額の10%に相当する金額で、上限額は10万円です。

ただし、リフォームを機会として下水道等に接続(加入)する場合は、20%(上限額20万円)まで引き上げます。

補助対象の主な条件

- ・村に住所登録をしていること(Uターン予定者でも場合によっては可)
- ・村税などを滞納していないこと
- ・村内施工業者が行うリフォーム工事であること

※この補助金を受けたことがある方も対象としますが、2年連続で補助金は受けられません。

補助対象とならない工事

- ・新築、増築工事
- ・店舗や倉庫、車庫などの非居住部分
- ・耐震改修など他の補助金制度と重複する工事



《問い合わせ先》◆事前相談 建設環境課 地域整備班 ☎64-1479
◆書類申請 総務課 企画財政班 ☎64-1476

3月定例村議会

会期 3月10日～3月23日
(主なものを掲載します)

条例の制定及び一部改正

■村小規模企業の振興に関する基本条例の制定について

*ー村の経済の振興のために村内企業への支援に関するものです。

■村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

*ー特別報酬等審議会の答申に基づき同規模町村の水準に近づけるものです。

■村一般職員の給与に関する条例の一部改正について

*ー人事院勧告に基づいて改定する国・県に準じて改定するものです。

■村奨学金貸与条例の一部改正について

*ー奨学金を貸与した学生が卒業後一定の期間を村に定住した場合、貸し付けた奨学金の一部の返済を免除するものです。

人事

■村教育委員会委員の任命の同意について

*ー平成28年3月31日で任期満了を迎えた村教育委員会委員の河内宗さん(沢)について、引き続き任命することに同意したものです。

計画の策定

■第6次村総合計画の策定について

■過疎地域自立促進計画の策定について

*ー現行計画期間が終了することから、新たに5年間の計画を定めるものです。

当初予算

■平成28年度の当初予算について

*ー8～12ページの新年度予算の概要をご覧ください。

平成27年度補正予算

一般会計では、国の緊急経済対策のための補正予算を4,719万円計上したほか、いずれの会計も決算を見通した補正予算となっています。

■一般会計(第7号)

《補正額》 2,350万円を減額
《総 額》 50億1,300万円

■国民健康保険事業特別会計(第4号)

《補正額》 1,040万円を追加
《総 額》 7億9,010万円

■国民健康保険関川診療所特別会計(第1号)

《補正額》 100万円を減額
《総 額》 6,240万円

■介護保険事業特別会計(第3号)

《補正額》 40万円を減額
《総 額》 10億3,521万円

■宅地造成特別会計(第1号)

《補正額》 10万円を減額
《総 額》 210万円

4月6日から15日は『春の全国交通安全運動』

～ ゆずり合う やさしいマナーに 春の風 ～

新入学(園)シーズンを迎え、新たに通学・通園を始める子どもたちとともに、二輪車などの交通量も増加します。ドライバーも歩行者も一人ひとりが交通ルールを守り、交通安全を心掛けましょう。

運動の重点

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 自転車の安全利用の推進
- 飲酒運転の根絶
- 歩行者の保護



4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」

●歩行者の保護(新潟県の重点)

平成27年中、県内では歩行者の交通事故が711件発生し、歩行者が39人死亡となっています。

- ・横断歩道等では『歩行者が優先』であることを再確認しましょう。
- ・夕暮れ、夜間に車を運転する場合は、原則として、上向きライトを活用しましょう。

春の異動

*敬称略

村職員

()内は前職

【退職】 (3月31日付)

- ▽課長 伊藤保史(総務課)
- ▽主幹・園長 菅原百合子(下関保育園)

- ▽主幹 駒沢良子(住民福祉課)

- ▽保健師 佐藤敦美(住民福祉課)

(2月29日付)

- ▽主事 渡辺凌一(住民福祉課)

【異動】 (4月1日付)

■総務課

- ▽課長 加藤善彦

- ▽主幹・総務班長 熊谷吉則(企画財政班)

- ▽副主幹・総務班 市井隆範(税務班)

- ▽主査・企画財政班 市井謙太郎(地域整備班)

■税務会計課

- ▽参事・会計室長 田村久美子(参事・税務班長兼会計室長)

- ▽主幹・税務班長 富樫佐一郎(総務班)

■住民福祉課

- ▽主幹・住民戸籍班長 須貝博子(健康介護班長)
- ▽主幹・健康介護班長 河内信幸(地域整備班長)

- ▽主事・福祉保険班 近 秀彦(新採用)

- ▽主事補・住民戸籍班 小田 藍(新採用)

- ▽主事補・福祉保険班 中山義基(新採用)

- ▽保健師・地域包括支援センター 松田千恵(新採用)

- ▽社会福祉士・地域包括支援センター 中山尚輝(新採用)

- ▽農林観光課 主査・農林振興班 加藤 龍(住民戸籍班)

■建設環境課

- ▽主幹・地域整備班長 渡邊隆久(水道環境班長)

- ▽副主幹・水道環境班長 富樫吉栄(水道環境班)

- ▽主事・地域整備班 阿部京介(新採用)

- ▽主事・水道環境班 小島大地(新採用)

■教育課

- ▽主事・生涯学習班 横山迪子(福祉保険班)

- ▽調理師・関川小学校 中東美和子(下関保育園)

- ▽主幹・下関保育園園長 長 里美(下関保育園副園長)

- ▽副主幹・下関保育園副園長 田村泰子(下関保育園)

- ▽主査・下関保育園 阿部真澄(大島保育園)

- ▽主任・大島保育園 米野裕美子(下関保育園)

- ▽下関保育園調理師 山口明美(関川小学校)

- ▽保育士・下関保育園 稲家由夏(新採用)

教職員

()内は新任校又は前任校

■関川中学校

- ▽教諭 中西正夫

- ▽教諭 只木雅実(村上市・村上第一中学校)

- ▽教諭 水口千尋(県立村上中等教育学校)

- ▽養護教諭 遠藤美奈子(新発田市・米子小学校)

【転入】

- ▽教諭 丹内重明(村上市・神納中学校)

- ▽教諭 齋藤博和(村上市・村上東中学校)

- ▽養護教諭 伊藤幸恵(村上市・平林中学校)

- ▽教諭 中西正夫

【再任用】

- ▽教諭 宮下絹恵

- ▽教頭 川村尚史(新潟県・下越教育事務所)

- ▽教諭 佐藤穰司(村上市・塩野町小学校)

- ▽教諭 日水希美(長岡市・川崎東小学校)

- ▽教頭 南波 裕(村上市・西神納小学校)

- ▽教諭 富樫 孝(村上市・三面小学校)

- ▽教諭 伊藤徳直(村上市・金屋小学校)

その他官公署

()内は前任地又は新任地

■村上市消防本部関川分署

- ▽分署長 近 明

【転出】

- ▽副分署長 五十嵐 肇(荒川分署)

- ▽主任 高橋裕介(朝日分署)

- ▽消防士 鈴木卓哉(消防署)

- ▽分署長 山崎公一(消防署)

- ▽主任 高橋 強(荒川分署)

- ▽副主任 川内 悟(消防署)

- ▽消防副士長 須貝優明(荒川分署)

- ▽経営指導員 櫻井俊行(柿崎商工会)

- ▽経営指導員 柏櫓和子(荒川商工会)



大きな夢を胸に新たな一歩 踏み出した45人の卒業生

桜のつぼみが膨らみ始めた3月24日、関川小学校で「第6回卒業証書授与式」が行われ、45人の卒業生が晴れの門出を迎えました。

今年の卒業生は小学校統合の年に入学。6年間に関川小学校で過ごしました。学校の先生や在校生、保護者が見守る中、真新しい制服に身を包み入場しました。式では、鈴木政信校長から「たくさんの可能性を持ち、未来を拓くみなさんに、クラーク博士の“少年よ、大志を抱け”の言葉を贈ります。大きな夢や希望を持ちなさいという意味です。お金や出世のためではなく、さまざまことを学び、人としてあるべき姿を求め続けて下さい」とお祝いの言葉が贈られました。

ステージ上で将来の夢を語った卒業生。新たな希望を胸に、大きな一歩を力強く踏み出しました。



関川小学校卒業式



関川中学校卒業式

「愛と夢と感動あふれる学校」 を作り上げた47人の卒業生

春の訪れを間近に控えた3月4日、関川中学校で「第11回卒業証書授与式」が行われ、卒業生47人が思い出の校舎をあとにしました。

式では、山崎明校長が「人生において最も大切なことは夢を持つこと。夢に向かって本気になることが大切です。あきらめない心と気力でみなさんの夢を掴んでください」と卒業生に最後の言葉を贈りました。

また、卒業生を代表して、渡邊寛大さん（下関）が「この1年間、これが最後と意識しながら学校生活、部活動に取り組んできました。かけがえない思い出を作ることができたのは47人の仲間に出会えたからです。これからは、それぞれの道に進みますが、いつの日か笑いあいながら会えることを楽しみにしています」と述べました。

式終了後に行われたはばたきの合唱では、両親や先生に感謝の気持ちを込めて「春風の中で」を合唱し、卒業生それぞれの「ありがとう」を伝えました。



写真提供：ふる里会員 写真家 本田彰男さん（東京都） ▲▼

2月28日、「いで湯の関川ふる里会」の首都圏交流会が東京上野精養軒で盛大に開催されました。

「ふるさとを都市の皆さんに届けよう！」と、昭和58年に発足したふる里会も、今年で33年目。現在では首都圏を中心に会員も328人となり、大勢の方から関川村を応援いただいています。

首都圏会員の皆さんと交流 いで湯の関川ふる里会

当日は、首都圏在住の会員の皆さん約130人のほか、平田大六村長や近良平議長をはじめとした村関係者も多数参加。懇親会や継続会員表彰、関川村産のしいたけやさといもの詰め放題、豪華景品が当たる大抽選会などが行われ、会員の皆さんと交流を深めました。



2冠
達成!

祝V・プレミアリーグ初優勝

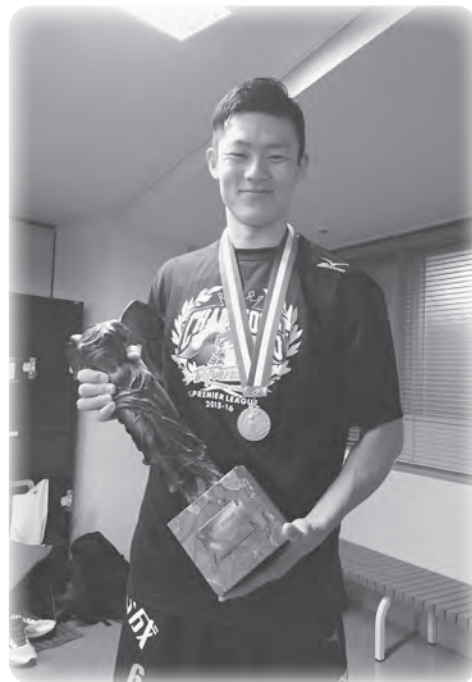
大島出身 近 ^{ひろ たか} 裕 崇 選手

バレーボールの2015/2016 V・プレミアリーグファイナルで、近裕崇選手が所属する豊田合成トレフェルサが初優勝を果たしました。全日本選手権との2冠を達成。

ファイナルの相手は、パナソニックパンサーズ。ワールドカップ日本代表選手が、3人もいる強豪チームに、第1セットを失いましたが、第2、3セットを連取。タイに並ばれて迎えた第5セットは、近選手のブロックポイントなどで得点を重ね、粘るパナソニックを退けました。

2010年に入団して、6年目で掴んだ悲願の優勝に、近裕崇選手は、「昨季の悔しさを忘れずにチーム一丸となって準備したことが優勝という結果に結びついて本当にうれしいです」と喜びを語ってくれました。

大学時代にも日本一を経験し、プロの世界でも日本一に輝いた近選手。この活躍に地元後援会の好裕会（こうゆうかい）（伝信男会長）では、祝賀会を計画し、お祝いをする予定です。



▲優勝トロフィーの「ブランデージ・トロフィー」を持つ近選手

関川村で初のプロレス開催

3月19日、村民会館アリーナで関川村では初めてとなるチャリティープロレス（子どものイジメ撲滅プロレス）が開催されました。

会場には、村内外から約500人が集まり、立ち見客が出るほどの賑わいとなりました。

子どもたちとの交流では、保坂秀樹選手が「笑顔と感謝の気持ちを持って、強い子になって欲しい。お父さんお母さん、しっかり子どもを見てあげて下さい。子は親の姿を見て育つ。一緒にいることが一番大事」とプロレスを通してイジメ撲滅にかける思いを伝えました。

試合の最後には、大仁田厚選手が登場。会場は一気に熱が上がり、電流爆破バットの使用にどよめきが起こりました。

試合終了後には、大仁田選手と会場が一体となり、「1・2・3、ファイヤー！」を決めました。



もう一つの卒業式

～ 放課後子ども教室 ～

平成27年度最後の放課後子ども教室が3月8日に行われ、小学校より一足早く卒業式が行われました。

放課後子ども教室が始まった年に1年生だった卒業生12人。うち4人の児童が6年間通いました。

式では、卒業生一人ひとりが思い出を発表。長野光希くん（6年・上土沢）は、「最初ははじめなかったけど、学年が上がるにつれてみんなと仲良く慣れて楽しく過ごせました。中学校でもいろんなことに挑戦したいです」と発表。

最後には、在校生が作るトンネルをくぐり抜けて、サポーターのみなさんと過ごした放課後子ども教室を卒業していきました。



関川村の輝きを世界に発信！

英語で
村を紹介

～ 平成27年度キラリと光る地域活性化事業 ～



キラリと光る地域活性化事業で採択された「Spread the sparkleプロジェクト」(Kaikka English Valley Valley 川崎哲也代表・鮎谷)の情報誌「Sparkle」が出来あがりました。

この情報誌は、知られていない村の魅力を広く海外まで発信することを目的に英語で作成されました。制作にあたっては、編集者の川崎パトリシアさんの他に、5人の高校生と1人の中学生が携わりました。参加した学生が、紹介したい関川村の魅力を提案し、それについて調べ、インタビューを行い、記事を書きました。

編集者の川崎パトリシアさんは、「この情報誌を読んで、関川村の魅力を楽しみに村に来てくれる人がいれば幸いです。そして、この村をふるさとと呼びたくなる人が出れば、大歓迎です」と語ってくれました。

すでに海外に100部を発信していて、川崎パトリシアさんの母校や海外の日本館に置かれています。その他、県内外の自然に興味のある方などに配布、自分の地域の参考にしたいなどの感想が全国から寄せられています。



また、村を紹介する際や英語の勉強の題材にして欲しいという思いから、関川中学校の卒業生にも贈られました。

川崎さんは、「プロの撮影者と仕事をしたことや中高生の思いを知ることが出来て勉強になった。参加してくれた学生たちも貴重な体験ができたはず。まだまだ伝えたい村の魅力はたくさんあるので、次号を作りたい」と意欲的です。

この情報誌「Sparkle」を教育目的のために利用したい場合、または関川村を体験し、村民とつながりたいと思っている方は、左記アドレスに連絡をしてください。

メールアドレス
sekikawa.sparkle@gmail.com

おらがたでできることを続けよう！

～ 自殺防止・地域見守り研修「地域の茶の間」～

3月4日に開催された「地域の茶の間研修会」で、3月の自殺対策強化月間にあたり、自殺防止の出前講座を行いました。約70名が参加。

地域の茶の間では、以前から自殺防止について研修を重ね、「おらがたにできることを広めよう」と各茶の間で実践してきました。

人とのつながりを大切に、挨拶や声掛け、心配な時は相談できることなどを広めています。



茶の間には仲間がいると再確認する参加者



今回の研修会で参加者は、「できる事を続けよう」と、地域の茶の間がもつ役割と、継続する大切さを再確認していました。

午後からは、特殊詐欺や悪質商法の被害から高齢者を守るため、「消費生活啓発講座」を消費生活サポーターグループ「あやめネット」の皆さんが詐欺事例などを寸劇で紹介。4月から始まる電力小売全面自由化やマイナンバー制度にかかわる詐欺などの悪質商法を紹介。きっぱり断る重要性を呼びかけました。

学校からのお知らせ

今日は関川小学校からの紹介

6年生の卒業を祝う会

2月26日(金)、「6年生の卒業を祝う会」を行いました。5年生が中心となって会の企画、運営を行い、お世話になった6年生への感謝の気持ちを込めて、各学年から歌、ダンスなどの出し物が披露され、寄せ書きがプレゼントされました。

また、6年生からは、お礼の気持ちを込めて歌とダンスが披露されました。

最後は、1～5年生と保護者の皆さんでつくったアーチの中を、6年生が退場していきました。

会場が温かい雰囲気包まれた2時間でした。



第6回卒業証書授与式

3月24日(木)、第6回卒業証書授与式を行いました。当日は、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席いただき、45名の卒業生を祝福していただきました。

卒業生は晴れやかな表情で卒業証書を受け取り、一人一人が、堂々と将来の夢を語りました。その姿からは、卒業の喜びや進学への希望が強く感じられました。

卒業生が、これからも向上心をもって努力し続け、いつの日か夢をかなえてくれることを願っています。



第61回新潟県書き初め大会 入選作品

新潟県書道教育研究会賞に佐藤綾音さん(5年・朴坂)の作品が選ばれました。その表彰式が2月28日に新潟県近代美術館(長岡市)で開催され、表彰を受けました。

また、特選には佐藤にこさん(5年・下関)が、準特選には渡邊一葉さん(5年・上関)、石田夢来さん(3年・下関)が選ばれました。受賞されたみなさんおめでとうございます。 ※敬称略

◆主 催 新潟県書道教育研究会

◆応募数 26,447点

特 選

新潟県書道教育研究会賞

佐藤にこ(関川小5年・下関)



佐藤綾音(関川小5年・朴坂)



準特選2点

石田夢来(関川小3年・下関)



渡邊一葉(関川小5年・上関)



ツヴァイは関川村の「婚活支援事業」をお手伝いしています。

関川村は、出会いのきっかけ作りをサポートします。



- ◎関川村は、村民の婚活を支援します。
- ◎イオングループの結婚相手紹介サービス会社(株)ツヴァイと団体契約を結びました。
- ◎ツヴァイに入会する際に必要な費用を関川村が全額負担します。
ただし、月々の費用は個人負担となります。(金額はコースによって異なります。)
- ◎関川村に住民登録をしている20歳以上の独身の方が対象です。

結婚という幸せへ。
ツヴァイがお手伝いします。

ここで、いい恋愛結婚を。

ご結婚までの流れ

あなたの成婚を支える、
ツヴァイならではのサービス

ツヴァイ式出会いのメソッド

理想に近い会員同士が出会える、
ツヴァイのシステム

ツヴァイでは、相性・適合性診断に基づいて
理想のパートナーを紹介する、双方向ベス
トマッチングシステムを採用しています。

資料
請求

結婚に
向けての
ご相談

会員登録
ご入会

条件
マッチングによる
出会い

価値観
マッチングによる
出会い

スタッフによる
お引き合わせ

ハンドメイドなお引き合わせや、お相手へのコンタクト代行など

交際
恋愛

婚約
結婚

成婚料は
掛かりません!

■利用できる方

- ・関川村に住民登録をしている20歳以上の独身の方
- ・村税等を滞納していない方

■お問い合わせの際には、「関川村民」であることをお伝えください。

■関川村特別団体コースの販売取扱はツヴァイ新潟となります。

■ご入会いただくコースは、ご説明時にご案内させていただきます。

■掲載の販売コース・価格・サービス内容は変更になることがございますので、ホームページまたはツヴァイ店頭で必ずご確認ください。

■村の問い合わせ先は、総務課企画財政班(64-1476)です。

ツヴァイ新潟 (11:00~19:00)

☎025-245-5005

定休日・毎週火曜日、水曜日

※定休日が祝日の場合は、営業します。



「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.10 健康診査の受診について

生活習慣病といわれる糖尿病や高血圧症、脂質異常症などは、最初は症状がなくても心臓病、脳卒中などの重大な病気につながります。

後期高齢者医療制度の被保険者は、村が行う健康診査を無料で受診することができます。ぜひ受診しましょう！

基本的な健康診査の流れ



① 村から受診案内が送付されます。

② 健診内容（実施期間・健診機関）を確認して、健診を受けます。

★詳しくは、住民福祉課へお問い合わせください。

健康診査を有効に受けるポイント

- ① 1年に1回健康診査を受ける
病気の早期発見のため、定期的に健康診査を受けましょう。
- ② 再検査・治療が必要な場合は、必ず医療機関で受診する
病気が悪化する前に治療を受けましょう。
- ③ 自分の健診結果の内容を知っておく
健診結果には必ず目を通して、自分の健康状態をしっかり把握しておきましょう。
- ④ 村で行っている健康相談を活用する

健康診査項目

- | | |
|-------|--------------|
| ■問診 | ■身体測定（身長・体重） |
| ■血圧測定 | ■尿検査 |
| ■貧血検査 | ■血中脂質検査 |
| ■血糖検査 | ■肝機能検査 |

毎週月曜日、10時～14時のあいだ、保健センターで健康相談をしています。ぜひ、ご利用ください！



Q. 現在、生活習慣病などで医療機関に通院中です。健康診査を受けることはできますか。

A. 生活習慣病などで医療機関に通院している方も、健康診査を受けることができます。

市町村職員を装い、高齢者を狙った医療費還付金詐欺事件が多発しています。
不審な電話があったら、一人で判断せずに周りの人に相談しましょう。

関川村包括支援センター通信 ⑥

地域包括支援センター 役場庁舎内1階 ☎64-1473

「地域包括ケアシステムの推進」

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らせる体制を地域包括ケアシステムと言います。村だけでなく、全国的に高齢化が進み、地域での今までの暮らしをどう維持していくかを考えることや仕組みづくりが急がれています。平成27年に行われた関川村における国勢調査でも高齢化率が、前回調査時よりも大幅に上がっていると予想されます。(平成28年10月公表予定) 高齢になっても住み続けられる地域、高齢者が多くても住み続けられる集落をどう作っていくかを真剣に考える時期が到来しました。

平成28年度は、この仕組みを作るために、住民、企業、行政等が知恵を出し合い、協議する場を設ける予定です。その地域に住んでいる住民なしで地域包括ケ

アは完成しません。住民の声を大事にしたいと思っています。

更に平成28年度は、介護保険制度改正による新たな事業が開始されます。認知症体制をよりいっそう充実させる「認知症総合支援事業」、医療と介護の連携を整備する「在宅医療・介護連携推進事業」、そして地域での生活を継続できる体制を整備する「生活支援体制整備事業」がスタートします。

新しい事業を含め高齢者のあらゆる支援に関わる地域包括支援センターも4月から新しい人員でスタートいたします。一人ひとりがその人らしく暮らせる村を目指して地域包括ケアシステムを推進していきたいと思っています。



健康講座

132

B型肝炎ワクチンの定期接種化について

県立坂町病院 小児科 今田 研生

厚生労働省の発表によると、今年の4月以降に生まれる0歳児に対して、10月から予防接種法に基づく定期接種でB型肝炎ワクチンを接種する方針とのことです。定期接種とは、市町村が費用を負担して原則無料でワクチンが受けられるということ。生後2ヶ月、3ヶ月、7〜8ヶ月に各1回、合計3回の皮下注射での接種が標準となります。

やその成分との直接の接触によつて感染します。その感染をワクチン接種によつて予防することにより、その後に生じる可能性のある肝硬変や肝細胞癌の発生を少なくする効果が期待されます。

今までも、B型肝炎ワクチンはウイルスに感染している母親から生まれた新生児には母子感染を防ぐ目的で医療保険が適用されて接種していました。さらに母子感染の予防以外でも費用を負担すれば任意で接種は受けられましたが、今回定期接種化されればより受けやすいワクチンの一つに加わります。

B型肝炎ワクチンは世界の多くの国々で広く接種されている比較的安全性の高いワクチンですが、日本では長い間無料で受けられなかったことから、ワクチン接種が進みませんでした。これから生まれてくる子供たちは、受けられる予防接種がたくさんあつてスケジュールを組むのが一段と大変になりますが、これは本当に喜ばしいことなのです。

一方で大変残念なことです。現在我が国のB型肝炎ワクチンの約80%のシェアを占めているのが某製薬会社の製品です。長年にわたる不正製

造の問題でワクチン出荷の自粛が続いているため、定期接種となればワクチン在庫の不足から接種ができなくなることも考えられます。別の製薬会社がワクチンを増産することにより安定供給がされて、10月以降の定期接種に影響が出ないことを願います。

また、B型肝炎ウイルスの遺伝子型分類には地域特異性があつて、欧米やアフリカ由来の慢性化しやすい遺伝子型のB型肝炎ウイルスの成人感染者が日本でも近年急速に増加しています。国産のB型肝炎ワクチンは、これらの遺伝子型のウイルスについても一定の効果があると考えられていますので、今回の定期接種化は大変有意義であると言えます。



*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

☎62-3111



気軽に、楽しく、時に夢中
内容盛りだくさん！

エンジョイ！生涯学習広場
& ふれあい福祉健康フェア

3月13日、村民会館アリーナを会場に「エンジョイ！生涯学習広場&ふれあい福祉健康フェア」が開催され、村内外から大勢の来場者で賑わいました。会場では、生涯学習

を身近に楽しんでもらおうと、石臼を使ってひきたてのコーヒーが楽しめるカフェやシュシュづくり、まつりの縁日が体験できる『屋台村コーナー』で射的や水ヨーヨー釣りなど、



生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ
☎ 64-2134

▶新発田・村上地域人権啓発活動ネットワーク協議会の皆さんも参加し、啓発活動に努めました



子どもから高齢者まで楽しい時間を過ごしました。
また、福祉健康フェアでは、村内福祉施設の作品展示や手話体験、福祉用具体験など盛りだくさんのイベントが準備されました。ここからからの健康コーナーでは、新潟リハビリテーション大学がインボディ（医療機器・計量機器）による筋肉量と脂肪量を測定、自分の脂肪量に納得したり、驚いたりする姿が見られました。
来場者は、しみながら福祉や健康についての意識を高めていました。



図書室の窓から

村民会館図書室

春ですね。入学や入園、進級と新しい第一歩を踏み出す方も大勢いるのではないのでしょうか。散歩の途中に図書室へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

この本よんで!!

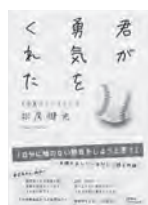
「おいしい電車」
最上 一平



ふたごの兄弟・一路とまつりのお父さんは、電車の運転士。そのお父さんが病気で入院することになり…。おはなしを楽しみながら、あこがれのお仕事がよくわかる本。職業への理解がさらに深まる「まめちしき」つき。

今月の1冊

「君が勇気をくれた」
松尾 健史



全国高等学校野球選手権神奈川大会、準決勝。県立南台高校対県立相沢高校の一戦、九回裏、ツーアウト二、三塁。逆転のチャンスが優勢の南台にめぐってきた。ひとつの打球を見つめる人々が織りなす、心洗われる成長物語。



今月の図書館バス

にじ色と、「汽車」のメロディーが目印です。

高田～沢～女川 方面 ……10(日)23(土)
大島～片貝～大石 方面 ……17(日)

16日は おはなしのかい
毎月第3土曜日です

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使っの演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎！無料です！

参加してくれた子どもたちにはかわいいシールをプレゼント！

毎週水曜日がお休みです。平日は、13時～17時30分まで、土・日・祝は、9時～17時まで開館しています。

あなたに直撃



渡邊 真光さん
(村上中等教育学校1年・下関)

関川小学校を卒業して村上中等教育学校に進学する渡邊真光さんに話を聞きました。

一 小学校生活で楽しかったことは？

6年生で行った「学校へ泊まろう」です。同級生や先生と学校に泊まり、キャンプファイヤーなど楽しいことをたくさんしました。小学校の友人との楽しい思い出として、心にずっと残っています。

一 村上中等教育学校へ進学を決めた理由は？

将来の夢をかなえるためです。小学生の同級生とはなれることはとてもさみしいです。本当はみんなと別れたくありません。しかし、僕は自分の夢をかなえるため、村上中等へ進学することを決めました。

一 どのような学校生活を送りたいですか？

小学校で6年間続けてきた陸上部に入り、勉強と両立させたいです。また、新しい友達をつくり、充実した学校生活を送りたいと思います。そして、休日は小学校の友人とも会いたいです。

一 将来の夢を聞かせてください？

夢は医師になることです。ぼくの両親は看護師です。人の命を救う両親の仕事にあらがれ、医師になりたいと考えるようになりました。いつか、医師として関川村に戻り、お世話になった人たちに恩返しをしたいと思います。患者さんや家族のつらい気持ちに寄りそえる医師になりたいです。

放課後子ども教室ボランティア (サポーター) を募集しています！

村では、今後さらに放課後子ども教室を充実させるために、サポーターとして協力していただけるボランティア（有償）を随時募集しています。興味のある方、やってみたい方は、ぜひお問い合わせください。

《問い合わせ先》

教育課生涯学習班 ☎ 64-2134



『広報せきかわ』 送riませんか？

村を離れて遠くに暮らす家族や友人、親戚へ「広報せきかわ」を送りませんか。

年間購読料をお支払いいただければ、毎月郵送で広報をお届けします。

《お届け期間》平成28年5月号～

平成29年4月号まで12回

《年間購読料》2,000円

随時受け付けています。申し込みを希望される方は、下記までご連絡ください。

※送付先の郵便番号、住所、氏名、電話番号
のほか、申込者（納付者）の住所、氏名、
電話番号が必要です。

《申し込み先》総務課総務班

☎ 64-1476



大会結果

* 敬称略

第6回 村民ふれあい 綱引き大会

■ 期 日 2月21日

■ 会 場 村民会館アリーナ

■ 成績

― 一般の部 ―

▽ 優勝 川北和楽

▽ 準優勝 レッドブル九ヶ谷

▽ 第3位 下関

第45回 村長杯 男女混合6人制

バレーボール大会

■ 期 日 3月20日

■ 会 場 村民会館アリーナ

■ 成績

▽ 優勝

関川村スポーツ推
進員チーム

▽ 準優勝

ISO☆6

▽ 第3位

役場バレーボール
クラブ



じっくり心をこめて スロー フード

145



鯖と野菜のさっぱり蒸し

野菜の甘みと魚の旨味が合わさり薄味でもおいしくお召し上がりいただけます。

野菜はお好みのものを加えていただいても構いません。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材 料 (4人分)

- ・甘塩鮭 160g (40g/切れ) ・しめじ 1パック
- ・人参 1本 ・キャベツ 120g
- ・長ねぎ 2/3本 ・ポン酢 大さじ2

作り方

- ① 甘塩鮭は骨を取ってひと口大に切り、キッチンペーパーで水分をふきとる。
- ② しめじは石づきを除いてほぐす。人参、キャベツ、長ねぎはそれぞれ食べやすい大きさに切る。
- ③ フライパンに②の野菜を敷き詰め、①の鮭を上のにのせる。
- ④ ポン酢しょうゆを回しかけ、10分～15分間弱火で蒸す。

せきかわ文芸

短歌

冬の日々楽しと集う公会堂に
昔姉さ等語りは尽きず

須貝 恵美
(高田)

白かべに赤かくそまりし山もみじ
やなぎも見てるせ、らぎ通り

大塚 冲正
(下川口)

コーヒーの沸く音しばし聞きて後
カップに注ぐ香こそよきかな

渡辺千恵子
(上関)

俳句

冬と春つな引きしてる ひな祭り
こいのぼり およげやにじの 空高く

大塚 冲正
(下川口)

春寒し 武甲の山に 雪つもり
白鷺に 三月寒し 初時雨
雪解けに 春のおとずれ 露のとう
春の雁 月下の佐渡を たしかめて

横山 一正
(東京都)

山柳・俳句

divusa

国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

◆4月だよ！

関川っ子再集合

新年度、出会いと別れの季節がやってきました。何度も関川村を訪れ、先月卒業した4年生。もう先輩になる1年生。2・3年生も含め計22人に、改めて関川村についてアンケートをとってみました！



★村で一番好きな食品は？

- 第1位 お酒
第2位 お米
第3位 女川ハム

お酒の中では、張鶴の票数が特に多く、これらの他には光兔もち、蕎麦、村上牛などが挙がりました。

★村の食品の好きな食べ方

- 第1位 車麴の玉子とじ丼
第2位 じゃがいも串切りの女川ハム巻き焼き
第3位 卵かけご飯

この順位は票数ではなく、試食した担当者の独断です(笑)。

★村の好きなところは？

- 第1位 人の温かさ
第2位 自然が豊かなところ
第3位 ゆくお

親しみとやすらぎのある温泉、ゆくおがランクイン。IVUSA学生が活動の度にお世話になっている施設のひとつです。

★関川村の方々へ一言(抜粋)

「毎回行くとき温かく迎えてくださって、気持ちがいい感じがします」「卒業しますが、これからもずっとずっと関川村のこと大好きです！」「夏にまたかえります!!」

◆1年間このページの担当をさせていただいた2人が、今月で担当から卒業いたします。



担当を引き受け、今までよりも関川村のことを考えるようになりました。記事を通じて、少しでも関川村の方々と学生が繋がるきっかけになっていたら幸いです。1年間ありがとうございました。

(埼玉県立大学3年 青木朋子)

担当になったことをきっかけに関川村で知ったことや知り合った方も多く、とてもすてきなチャンスをいただけたと感謝しております。これからも村に帰りつづけますので、声をかけていただけると嬉しいです。

(拓殖大学2年 堀 安優美)

来月からは新しい2人が担当いたします！今後もしろしくお願いします。

せきかわ文芸

関山俳句の会作品

冬景色墨絵ながら山眠る
伊藤 久恵
三寒の続くこの頃四温待つ
伊藤 久恵
挨拶は日脚伸ぶから始まりぬ
伊藤 久恵
お隣りの一輪咲きし白椿
青木 慶一
予報せし雪崩注意の続きたり
青木 慶一
猿の群訪れ近く山笑う
青木 慶一

せきかわ山柳会作品「雑詠」

近所まで来たと律儀が顔を見せ
平田 千恵
老いの身の不本意ながら義理を欠き
平田 千恵
まだ生きる望みへ朝の歯を磨く
平田 千恵
古里の友の話に時忘れ
本間 イミ
心使い優しい友の贈物
本間 イミ
幸せは無事に過せる日々にある
本間 イミ

戸籍の窓

● 2月16日～3月15日までの届出●

お誕生おめでとうございます

みらん 未蘭ちゃん(女) 高瀬 福山 友樹・安里さん
えま 笑茉ちゃん(女) 下関 松田 光司・湖津江さん
ののか 希叶ちゃん(女) 辰田新 倉澤 健太・未紅さん

すえながくお幸せに

{ 長谷川 健太さん 下関 (坂上) 千恵さん (胎内市)
{ 五十嵐 功さん 上川口 (相羽) 美紀さん (新潟市東区)

ごめい福をお祈りいたします

堀 イチノさん 90歳 湯沢
近 スイさん 91歳 下関
畠山 正雄さん 81歳 高田

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

平成27年2月末現在 ()は前月対比

世帯数 1,972世帯(－4)
総人口 6,022人(－7)
男 2,875人(－5)
女 3,147人(－2)

(転入 5人 転出 12人)
(出生 4人 死亡 4人)

編集室から

▶ 4月は、出会いの季節ですね。たくさんの人に出会うことで成長できると思っていますが、なかなか性格が性格なもので、飛び込んでいけない自分がいます。たくさんの人に助けていただきながら、平成27年度広報せきかわの発行が出来ました。ご協力ありがとうございました。職場内の異動がありませんでしたので、平成28年度もよろしくお願いします。(と)

キラリ輝く☆せきかわっ子たち vol.53

今月は、スポ少ミニバスでセンターを務める大島望さん(5年・上野新)を紹介します!

バスケットをやっていたお兄さんに憧れて、小学3年生から始めました。練習での往復ダッシュやトレーニングはきついけど、シュートを決めた時の感触が大好きだという望くん。闘志を内に秘めた芯のあるバスケット選手です。



⑥ チームメイトから見た望さんは?

- ・超イケメン
- ・学校では、活発!
- ・失敗をすると笑顔になる
- ・ゲームが上手で詳しい!

⑥ 指導者の渡邊悠さん(上関)から望さんへ

6年生になる今年、意識も変わり、上達のスピードが上がりました。キャプテンを助けチームを引っ張ってもらいたいです。頑張れ望!!

⑥ 10年後の自分は?

プロバスケットボール選手になりたい。



1試合20点以上取り、強豪チームのセンターに勝つ!

わが家の

人気者

こうめい 昊明くん(6歳)
かいり 海光くん(2歳)

駒沢 亮さん 奈津子さん(上土沢)



優しく思いやりがあって、お調子者の昊明。そんなお兄ちゃんが大好きな海光は人見知りもしますが、元気いっぱいの子っかり者。これからも優しい心をそのままに、兄弟仲良く、お友達を大切にできる人になってね。